中1 歴史 古代 一問一答（20問）　版L

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 現在の人類の直接の祖先で、クロマニョン人などがふくまれる人類を何というか

(2) メソポタミア文明で、粘土板にくさびの形を組み合わせて書かれた文字を何というか

(3) 縄文時代の人々が食べた貝のからや魚の骨などを捨てた場所を何というか

(4) 1世紀に倭の奴国の王が漢（後漢）の皇帝から授けられ、福岡県の志賀島で発見されたものを何というか

(5) 銅剣・銅矛・銅鐸など、弥生時代に主に祭りの道具として使われた金属器を何というか

(6) 3世紀に邪馬台国を治め、魏に使いを送って「親魏倭王」の称号を授けられた女王はだれか

(7) 弥生時代に、収穫した米をたくわえるためにつくられた、床を高くした倉庫を何というか

(8) 聖徳太子が建てたとされ、現存する世界最古の木造建築として知られる寺を何というか

(9) 672年に、天智天皇のあとつぎをめぐって起きた争いを何というか

(10) 刑罰のきまり（律）と政治のきまり（令）をあわせて何というか

(11) 東大寺にあり、聖武天皇の遺品など、西アジアなどから伝わった品も収められている宝物庫を何というか

(12) 奈良時代に、絹や地方の特産物を都に納めた税を何というか

(13) 720年に完成した、国の歴史を年代順に漢文で記した歴史書を何というか

(14) 奈良時代に、九州北部の守りについた兵士を何というか

(15) 桓武天皇から征夷大将軍に任じられ、東北地方の蝦夷の抵抗をおさえた人物はだれか

(16) 保元の乱のあと、平清盛が源義朝を破って勢力を強めるきっかけとなった争いを何というか

(17) 遣唐使の停止後、日本の風土や生活に合った、かな文字や大和絵に代表される文化を何というか

(18) 1086年に白河上皇が始めた、天皇の位をゆずったあとも上皇として政治を行うしくみを何というか

(19) 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧はだれか

(20) 娘を天皇のきさきにし、「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんで摂関政治の全盛期を築いた人物はだれか

中1 歴史 古代 一問一答（20問）　版Lの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 現在の人類の直接の祖先で、クロマニョン人などがふくまれる人類を何というか　新人（ホモ・サピエンス でも正解）

(2) メソポタミア文明で、粘土板にくさびの形を組み合わせて書かれた文字を何というか　くさび形文字（楔形文字 でも正解）

(3) 縄文時代の人々が食べた貝のからや魚の骨などを捨てた場所を何というか　貝塚

(4) 1世紀に倭の奴国の王が漢（後漢）の皇帝から授けられ、福岡県の志賀島で発見されたものを何というか　金印（漢委奴国王の金印 でも正解）

(5) 銅剣・銅矛・銅鐸など、弥生時代に主に祭りの道具として使われた金属器を何というか　青銅器

(6) 3世紀に邪馬台国を治め、魏に使いを送って「親魏倭王」の称号を授けられた女王はだれか　卑弥呼

(7) 弥生時代に、収穫した米をたくわえるためにつくられた、床を高くした倉庫を何というか　高床倉庫（高床式倉庫 でも正解）

(8) 聖徳太子が建てたとされ、現存する世界最古の木造建築として知られる寺を何というか　法隆寺

(9) 672年に、天智天皇のあとつぎをめぐって起きた争いを何というか　壬申の乱

(10) 刑罰のきまり（律）と政治のきまり（令）をあわせて何というか　律令

(11) 東大寺にあり、聖武天皇の遺品など、西アジアなどから伝わった品も収められている宝物庫を何というか　正倉院

(12) 奈良時代に、絹や地方の特産物を都に納めた税を何というか　調

(13) 720年に完成した、国の歴史を年代順に漢文で記した歴史書を何というか　日本書紀

(14) 奈良時代に、九州北部の守りについた兵士を何というか　防人（さきもり でも正解）

(15) 桓武天皇から征夷大将軍に任じられ、東北地方の蝦夷の抵抗をおさえた人物はだれか　坂上田村麻呂

(16) 保元の乱のあと、平清盛が源義朝を破って勢力を強めるきっかけとなった争いを何というか　平治の乱

(17) 遣唐使の停止後、日本の風土や生活に合った、かな文字や大和絵に代表される文化を何というか　国風文化

(18) 1086年に白河上皇が始めた、天皇の位をゆずったあとも上皇として政治を行うしくみを何というか　院政

(19) 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧はだれか　最澄（伝教大師 でも正解）

(20) 娘を天皇のきさきにし、「この世をば わが世とぞ思ふ」の歌をよんで摂関政治の全盛期を築いた人物はだれか　藤原道長